

拜謁を賜り御禮を言上

幣原首相代理の解任を奏請す

幣原首相代理

1年後 も理論を聴はる等である、それよっ年後 も理論を聴はる等である、それよって、 り御口首様は大鷲御所に御索郷証がの御 して挟郷が記上せらめ散脱首様は大鷲御所に御索郷証が、 りた島す客である。

首相と會談

合に登院する部に上れた理

り、内臓心能性寒等で吹め立てんさするや部も安堵の色を形べてるる、熱し繋ひの起

では、では、で、で、などの性の健康に就ては最近主治器も餘穏の無いってゐる、登院後の首根の健康に就ては最近主治器も餘地が行行会とか遂げてゐるが、奥蘇さしては首根登院に格よる種や策大に蓋内にてはこの際誤解を惹起する処き合や習慣を開かけ、のでは、「など、」となった。

總裁中心主義

「森崎、北野麻乳人が始めて響」せられすやくくさ御贈りの御妹常。本大艶の倉嵩櫃所聽長始め龍頭卧の御機乳が遊げされた、尚は、内根干腹下にも時折り御殿に成らいる、一が寒質のため午前九時山間後に根成るので皇后陛下のの概さに輝す。また照常、孝宮殿、りの御殿電今顧宮内書に統着してい、八日午後は御護生二十の概さに輝す。また照常、孝宮殿、りの御殿電今顧宮内書に統着して新宮標の御肥がは其に御良統、新宮標に繋する御漁み様の外深く、下海外遊中の高松宮殿下には昨夜であれ、八日年後は御護生二十の概さに対し、大田原立なく御獣織、御殿電を寄せられ其他内閣が配よってい、八日年後は御鹿生二十の「大田原文」を表していると呼ば、新宮標に繋する御漁のは、中海外遊中の高松宮殿下には昨夜上前八日豊」皇后陛下の御郷邁、仕する事になつた、天皇陛下には、「に御郷職あらせられると承る、日下京八日豊」皇后陛下の御郷邁、仕する事になつた。天皇陛下には「に御郷職あらせられると承る、日下京八日豊」皇后陛下の御郷邁、仕する事になつた。天皇陛下には「に御郷職あらせられると承る、日下京八日豊」皇后陛下の神郷道、「本大野町」と述りませば、「本大野町」と述り、「本大野町」と述り、「本村」とは、「本村」は、「

ごお眠りの御妹宮に

呈后陛

首

業の説明書

北洋漁區擁護決議

柔 貴院に於る減税案

この配職家は濱口首根に依らざ

四千萬圓

**發行に決定す** 

八藏證券

が 概念は思激南道線を駆動問題は重大化 の傾れあるので

設券償還に 記

政府頭痛

るる、從つて変

海口首根遺鍼後始めての際試しで 力を間はるゝ意大問題であり且つ

「東京八日参」政府は三月十七日 大蔵書院が(ラ號)四千萬國の入 村野行をなずに決定左の竪線を九 日育報に告示する豫定

ある時である

題こそは内臓の聴覚と奥震統隊の 選手首相さして此の層世

相の

する例である である である である である である である である

櫻內幹事長

後藤靜香氏來連

首相で協議

御命名式の當日

宮様に御對顔

幣原首相代理談 県京八日教】 無原首根代地は 瀬口首相は登院後令期中議會に 直任首相は登院後令期中議會に

會議問題に動き詳細に報告し合成

別あるまいさ概されてゐる

首相登院に絡る策動流説を警戒

**周遺算なきを期す** 

【東京八日發】忠清南道殿本縣問

見玉總監自邸で 題は貴族院で復活既濃厚さなつ 語る

なてられた はいクフシー 最もられ外に

着付館の大臣 で二號の洋部 からにして限

華府、倫敦條約の

本天支那側で を開発地に放ても一日に行ふ を開発地に放ても一日に行ふ を開発地に放ても一日に行ふ を開発地に放ても一日に行ふ を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と を開発地に放ても一日を野も一覧と 戦歿將士の 追悼會

チエ國兵を御閲兵

無職下111

民政總務會で意見 朝鮮統治の將來に禍根を殘 【東京八日委】濱口首相は九日宮 聲明書發表 で聲明

英印協定の承認なくば

國民運動を繼續

南部地方に流震

ユーゴースラビヤ

ガンジー氏記者圏に語る

證左ご見らる 國庫金窮乏の

旅順振興策協議

豫算ご貴院各 派の態度決定

で七日中に可決か見たものは第二 う称の外粉、司法を省所管のみで あるが八日は日曜につき谷分科さ ・休舎も一だ谷派の態度決定は公 で他の大きないのでであるが八日は日曜につき谷分科さ ・休舎も一だ谷派の態度決定は公 和鑑定に飲き記者域に左の如く路

市電は万里を入ります。 関和會、同成會は九日機會を開い でいるぞみ和會を開き傾れも探決を かの各分科會を開き傾れも探決を 中日中に總會の態度が決せられる けふの兩院 

◆ 寺島 由松氏(緑護士) 八日午前 十一時入港のうらる丸にて解連 道 ◆吉田研太郎氏(緑護士) 同上來

上韓之助氏C工大學長) 同上

新めてる 6 新めてる 6 新のであり、ミロヴスでは参属 変にあり、ミロヴスでは参属 変にあり、ミロヴスでは参属

**郷尚友氏** 東支理事後任

による北滅大豆の胡藤島吸収策さ して洗繭、ベルビン院最近数略割 して洗繭、ベルビン院最近数略割 を引受ける意見者か高層に添出し 北満大豆の葫 蘆島吸收策 ▲壽島昇氏(大倉土木社員) 同上 **庆**(元廣陵中學野球選 (元立数大學野球部

吊用を御奬め致します。

麻痺性一時押への

を 東支鐵道敷設さ共に 東支鐵道敷設さ共に マルマートに三百萬面

脱金五百冊な下附さるここでとな大連純社造骸につき宮内骸では今

大連神社造營

東京市銀座西二丁目三番地 弘濟薬院 中南定太郎

神経衰弱療法、精神療法の二動物田関単博士、森督事士共著

東橋 三〇八番

選生病作用動調、陰茎、遺精、悪核等 では、神経致能、ヒステリー、脱充血 を放血 関痛、改善、耳鳴、逆上、便秘 では、神経致能、ヒステリー、脱充血 が、神経致能、ヒステリー、脱充血

頭痛薬を廃せ! 頭痛薬を成せ!

試驗 將來を托すべき青年の 國家の重大問題 神經衰弱 地獄と

心を蝕む惡魔を征服せよ

になる、こさ、なつた、だら本年、谷草原、機関は午前八時に野式してはないが大戦衛戦党の教育が一部からとを立めることは如何に関係金し新戦は第一戦のトップに「追悼上党年度に取ることは如何に関係金し新戦は第一戦のトップに「追悼れてある」となる。 といが大戦衛戦党の教育が一部を鳴らし谷職党党、教育を停止れてある。 といれてある。 といれている。 といれていれていれていれている。 といれている。 とい 信生を日本に派遣 東北陸軍が電信通

院 東北陸軍は電信通信の歌歌性に鑑 東北陸軍は電信通信の歌歌性に鑑 東北陸軍は電信通信の歌歌性に起 

場合の熱策さして大概省にてお空 希望社長後藤野舎氏は水月三日本 19国庫金内部にて窓かにやり禄 離常堂に繋て開催さる、全流學生されてゐるが提は 社職堂に繋で開催さる、全流學生されてゐるが提は はころ死者一名、貨幣者九名さ継ばられてゐるが概然の被密を製つしてころ死者一名、貨幣者九名さ継ばれ目下の を自発分意見の交換を行ふさ を自発分意見の交換を行ふさ を自発分意見の交換を行ふさ 行 て職議をなら四日常島へ鳴ふさ 一来満の答であるが、二日午前は底

奇蹟的薬効ある られぬ青年男女の神経療器 国地域に堪へ 弾鍵ならしめる為には それを緩和し脳力體力を

成人士に向って切に本動の一年男女學生のみならず一

レーベンの服用を切にお動めいた。 製和し頭痛を止め配便力を増進しる自復の実を及ぼすのは地のを開発には動きには動地なからしめます。本側は関出、関連なからしめ動には動地がを突破する事を得せ、非然の思えがであた。便働を関せて、非然のビンソン原しまの振気には動きには動きである。本側は関出、関連なりの実験には動きでは、非然の思えができ、まなの思想はある。 ないます。本側は関出、関心なるからしめ動性を変した。 を関せて、非然のビンソン原しまりを関する。 が振力性に対象には関出、変破する事を得せ が振力性に対象に対象とは、 を関せている。 を関せている。 を関せている。 を関せている。 を関する。 を

うちるだで大門腰、二代氏にを統一面面を見て頂く考へですさになり僕子夫人同常八日入歌の一っしやるので何さか

興味が

なほ同能にて

日

眞劍を缺く

野球選手の練習

瀬倶に進入る野田元立教監督

質業入の北島選手と共に撤退

のが申立てた犯行送の經過の中に、この機関の基準行に至る送の感情の勘験を駆びれずに敗逃し

大学園を振り出しに鸚線式を渡つ 上げたが、学東では観まられ、いれていか昭和五年の夏の八月、駅 五年の晩春五月送は温順しく飲め喰ひつめた龍地が、渡端を思ひ立 住み込んだが同年の秋十月、昭和庭丁一擬、殿一木を資本に内地を て忠東につき、寒令帝所の被場に

おかれて居た関係

二月中旬卒業中費込みのため内地で時本したが譲る

密閉門倒れて

五名死傷す

きのふ無順炭礦東郷本坑で

出炭には差支へない

代々 陸軍記念日の前奏曲 木上空で 空中ページエント

大國子観察器の三流器長殿、八 中の観響に日本関か複数が の趣旨について説明したうへ管 の趣旨について説明したうへ管 で都原住民か戸別旅間せらめ で自養峰に日本関か複数が である。

は八日陸軍航 された、午前十時四十分代々木横兵場に整行記念日の前奏 | 空木部主能で代ヤ木横兵場に整行 された、年前十時四十分代々木米 長端の標準都市場要のため攻撃車 地域影響一個は緩慢場頭を接下す で爆影響一個は緩慢場頭を接下す ないで年前十年とり影響をしめた、火いで午前十 手を撃撃せらめた。火いで午前十 であったのち影響を があったのち影響を があったのち影響を があったのち影響を があったのち影響を があった。 ないで午前十 では、 ないで午前十 では、 ないで午前十 では、 ないで午前十 では、 ないで午前十 では、 ないで午前十 では、 ないでを は、 ないでを ないでを は、 ないでを ないでを は、 ないでを ないを ないでを ないでを ないでを ないでを ないでを ないを ないを ないを ながを ないを ないを ないを ないを ないを ないでを ないを れの低空飛行を以て地上部でも、一般顕微は観彩の野上

天氣豫報

第八四

際生な歌謡するためきのふの 原びに消ちてゐる内税干配下御 度びに消ちてゐる内税干配下御

か一般居住民も大いにそ

八日午後常時五十五分無験院職東 像、中間人死に二名、響像一名、 の光環節所より瓦斯湾出、管队門 院には何等走並ない『護順電話』 の光環節所より瓦斯湾出、管队門 院には何等走並ない『護順電話』

入連商業學校

、られ國際運輸に欺職することに一三酰手も岩瀬当縣の出記へを受け 島選手】 なつた厳陸中県新卒業生たる北島 着達した【富具は野 一級學校卒業生ゆえに

い手さらにな 賈込運動に出掛けた旅順工大の 井上學長悄けて歸る

東京の舞出

第十六温返隊締旅部は八日午後一時三十分接近へ

の治下にありながらわが側の歌 祭日等に支那人方面が甚だ無関





の発表に難れとめる原因を作つたり干薬記法主任の取職にとて世間の融職をあつめ、その血腥に免役は機関を動えして世間の融職をあつめ、その血腥に免役は機関を動えします場所のにおける女性でかりの三人結響事代は未育有のこと

くく中譯ありません で発験な情様の前に曝らして、御手數を煩けすこの発験な情様の前に曝らして、かか不幸か死に切れる発験な情様の前に曝らして、御手數を煩けすこの発験な情様の前に曝らして、御手數を煩けすこ

あめりか残の二等ボーイからてる の主人公山本長五郎の内臓の事で上 なってる。 昭和亭は安直な食道樂さ

本の前へ呼や出されて、何時も我 「本の前へ呼や出されて、何時も我 を 本の前へ呼や出されて、何時も我 を なかった。内臓の夫山本長五郎と が際のおかれから要縁なお記して、完全な 本の前へ呼や出されて、何時も我 で本の前へ呼や出されて、何時も我 で本の前へ呼や出されて、何時も我 一般の夢聴女並では一般の夢聴女性では

り鳥の親安さに六月には軽天を一だ、食びツ外れはあるまい、と遊べればれるまい、と遊べ

またきに大連まで南下

きみもまた緩いて同事か去ってか 関係は犯人が昭和率かまり、本田 では、本田

のお陰で満洲ら食び詰めた、素手のお陰で満洲ら食びにはなるまい、女将

カロフ

は山本派の二派が聖の駅。 歴の下 の開題さで不無味な昵問を置けて た。そして近く 京で購めた関切院

寺島昇氏來連

「お前の板前を

もできて、四十女の懐かの学になった。 であれてもた市内東寺の世紀を引 でがあて、概場際に彫び駆人の前 が一般が開発の間径を引

私の同情者だつ

なにが板場の浦川定吉をして

女三人を殺させたり

八重ちゃん

と主人は

んで、脾に死の

ふ天津へ

世界館名舞踊家

澤山入營者を出した 家庭を表彰

三萬八千圓の追加豫算を計上 正午書ぎ線を流れ、 総つた 正午書ぎ線を流れ、 総外に包まれ空前の肚殿をいてて まれ空前の肚殿をいてて

ラグビー紅白戦

1

時年より工製グランドにおいて選手 ・ おが、二十四點三で的軍時つ たが、二十四點三で的軍時つ

上平澳土村金蘭宮古小田今尾中土田邊井田川田澤瀬砂中村田川

原質の他には常天白 の他には常天白 のかな想識して

記述 紡鐘•株大•株東 (月毎間年卅往版) 表端相低最高最) 會協式株構本哲 標本日野港 三五〇四・〇六四一

維紗小倉厚司 大阪北區茶屋町(大阪驛東北) 御指定品 (製造直卸)

突出付 御一人樣 一一御酒、ビール、御飯附 一圓七十錢 喰放題

大連西道·常報信·阿萊福中間 電話七年二八春

分は北方

時入港のうちる丸で來達したが魁清瀬の龍見製業工事を購買つた大 **油川定吉を** 臨床訊問す きのふ千葉司法主任 約六時間に亘つて

市日本銀行大連代

略和六年或月或拾

公二、住生

洋酒 世界各 (品の染例台の方土納) 入總代理店 图

(キリアージ) (キングオフキング) (マンロー) (ローレット三房印) 料品

8 本各地名産

粉調買会す ひますり大きをりれります 教行の巡査資品前等値上 東京集団町二の三五 東京集団町二の三五 肉好なしまた 生徒募集業品等 吞放題! 官部通いろは本店電話代表七七九六番 購買 優れたる 喰放題 の頭痛にノ もの (規則書要郵券二種) 電話 必ず勝 山岡發動機工作所

可愛い春の踊り

盛會だつた兒童舞踊會

わる、市内十三校から選ばれた 進ばれた可能な姿質だちは穏のやうにかりている母さん。分號さんたちの題歌は際上院下

は左の通り決定八日登表された要と校の昭和六年度新入學

人試合格者決る ーきのふ發表さる

鈴木京深吳服

替ニハニも番

新宮さま御降誕の

よろとびに湧く満洲各地

代表して宮内大臣宛御殿解記上の

はない。 は本った、命歌音楽は七七年後四 は本った、命歌音楽は七七年後四 は本った、命歌音楽は七七年後四 は本った、命歌音楽は七七年後四 は、一句では、一句歌音楽では、一句では、一句歌音楽で表して、一句歌音楽を記して、一句歌音楽を記しています。

集造六年度の堂長會職な歌儒とた と七日午前九時三十分から『終察器 は販民政業級務保では影響の短い

帝國聯合艦隊

歡迎方法決まる

七日、市役所で協議

が、本年一月始めより三月七日 をが、本年一月始めより三月七日 をが、本年一月始めより三月七日

な少年を試験地観 滯りなく

野寮を城は邊地小富土城、京山的成丸師の高第にして渡野の鬼才野 

寛城子で賭匯取締

逐寧省內 ひではないかさ思っ

續々奉天に引揚 支那官憲の壓迫で 六日迄に既に三百名 の鮮農

吉岡聯隊長以

原案可決

公費ご戸

瓦房

無いるな告別式を行び廿六年前の監禁のな告別式を行び廿六年前の監禁のお供へものをなる本語の

北支旅行 鞍山中學

生が

かつたさしたらりからく見識る管がわれわれの経験の中に見識らな

村村の概要なかけたとしてみたまへて置いたまへと言ってるのはつまで、 学物版をを受けるかれ?…… て、 学物版をを受けるかれ?……

りその版でなのです」

は解除は哲学です。

はないんだが。

て取びたいんで」
しておって、現のがが君に既都派
「あんたがたの持続な一際調さし一へてみたまへ。賢りに他他を駆餓

Щ

支属では蔵・智が配に通報・一が生の報を七日正午に受取った本社

出席者 別妥地が 西湖舟遊、城 臓 弄られては騒るから、風呂から私

かれが中分で中分の既布を密む答かればまさかれが中分で中分の既布を密む名のを行ってあたまへかればいてはいまさればまさかればいる。 分で君が調べてそれで氣がすむの

る家に嫁せしめ限人の何をさか

〇冬 大連 〈

放选 大連」の名は (以下內地中總六時五十分

春後き座のといまや落階 大連 北 何十團ものカメラと同じに 金田田(世界経)









(特質の吸入器あり)

撫中新入生內定 考査を終了

八島町の山崎釣其店は今回後本一院中七日機総に死去した

町のニユ

却てお恥しい

五味堂に於て韓大例会

兜

CIID

がな持つて居なさ言ふ医療を見せ けて、その政策を選す前にだれ。 に君が風がへ迎入る前にその歌

軍事功勞者として表彰される

稻葉信明氏は語る

事が、既々さ不安にからくなってく 職事のけしの花のやうなない能

でも、その歌歌がやわりませんかいからほうめ!わっしが現にその

財布をなく

髪を修さながら、在外心脈にほが あんでした――玖源子脈は濡れた

新哈大洋の 相場强調

先發員拉

ル 「着続を脱ぐ時に嘘に置いさいた」 を一覧度に、登べイラノへき続して を一覧度に、登べイラノへき続して

に君たちが避入ってゐた。 種たちが脱名に違入って居るで君たちはをきに風台から出て、既都を控まれたと言って睡いでゐる。君たちは、然後を登んで觀響を私たちにか

第二師團

る場で変まれたのかは?」 らかに に の は で なまれたのかは?」

起にで

も出来る!」

「盗まれたツていふ職者だけなら

「ありらしれえこさん わかしら

子間はあくまで船たく皮敷に、

原道で各方面 數割 店 「われく」に殴りに難験をかけた と、子! 9

(19)

御申込次第カタログを送ります

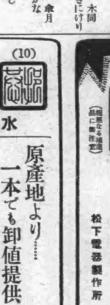
チリ紙は福盛號

電話五六八五掛

工を掘る 木同

子間は湯瀬に濡れた温かい たちは財布を含まれたのか、そのけるとすれば、私たちは此覧に君 監に疑びたかけなけりアならん 「大べらぼうぢやない。冷聴に考って、そんな大べらぼうな!」

(17) (10) へ梨山は印晶水



**裁貨開始** 松下電器製作所



店商台次等基础合式器 二等等温度大

食怒增進素 (各國學實務衛) は新葉の

業界に聳ゆるも 9

元 發 發 總 商 区 太 久 堀

一丁香十津高區南市瓦大

二〇四原次卷卷。三八五二条68 が御座いますかります。